

平成 24 年 4 月 13 日

各 位

東京都目黒区上目黒二丁目 1 番 1 号
株 式 会 社 ア ク ロ デ ィ ア
代 表 取 締 役 社 長 堤 純 也
(コード番号：3823 東証マザーズ)
問 合 せ 先： 取 締 役 副 社 長 國 吉 芳 夫
電 話 番 号： (03)5768-8600(代 表)

第 2 四半期連結累計期間業績予想と実績の差異ならびに
営業外費用・特別損失の計上および通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 24 年 2 月 28 日に公表した平成 24 年 8 月期(平成 23 年 9 月 1 日～平成 24 年 8 月 31 日)の第 2 四半期連結累計期間の業績予想と実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、特別損失の発生に伴い、平成 24 年 8 月期の通期業績予想を修正しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 8 月期第 2 四半期連結累計期間(平成 23 年 9 月 1 日～平成 24 年 2 月 29 日)の業績予想と実績の差異について

(1)連結業績

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	1,426	△197	△436	△156	△1,322.25
実績値 (B)	1,466	△223	△470	△195	△1,657.34
増減額 (B-A)	40	△26	△33	△38	△325.16
増減率 (%)	2.8	—	—	—	—
(ご参考)前年同期実績(平成 23 年 8 月期第 2 四半期)	1,049	△314	△321	△407	△3,787.36

(2)個別業績

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	377	△180	△168	87	738.31
実績値 (B)	296	△283	△277	△22	△189.01
増減額 (B-A)	△80	△102	△109	△109	△926.18
増減率 (%)	△21.4	—	—	—	—
(ご参考)前年同期実績(平成 23 年 8 月期第 2 四半期)	774	△129	△130	△333	△3,094.09

(3) 差異の理由

個別業績については、ミドルウェア事業において Android スマートフォン向けのきせかえサービスや関連ソリューションをサービス提供するとともに、昨年 12 月末には新規のソーシャルゲームを開始し積極的に推進し継続的に成長しておりますが、フィーチャーフォン向けの売上減少を補うところまでは及ばず、一部案件の期ズレの影響もあり、売上高は当初予想に対し 80 百万円下回りました。利益面につきましては、売上高の未達及び売上原価の増加により、営業利益が 102 百万円、経常利益が 109 百万円、当期純利益が 109 百万円下回りました。

連結業績については、上記個別業績の差異に加え、韓国子会社において上期に見込んでいた新規案件に伴う受託開発売上が下期以降へ期ずれする等の結果、ミドルウェア事業の売上が 125 百万円下回った一方、連結子会社である株式会社 AMS（以下、「AMS」という）の行う EC 事業が好調に推移し、昨年 3 月以降、各四半期で営業黒字を継続しており、顧客数の増加並びに既存顧客の規模拡大により当第 2 四半期では過去最高の売上と営業利益を計上し、売上計画を 164 百万円上回る結果となっております。これらの結果、連結売上高は 40 百万円上回りました。利益面については、EC 事業が予想を大幅に上回る利益を計上する一方で、ミドルウェア事業では売上の未達により、営業利益が 26 百万円、経常利益が 33 百万円、当期純利益が 38 百万円下回る結果となりました。

2. 営業外費用・特別損失の計上について

当社及び AMS の本社移転に伴い移転費用等として、連結業績において約 31 百万円を特別損失として計上する見込みです。なお、平成 24 年 2 月 28 日付「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、第 2 四半期連結業績において、営業外費用として持分法による投資損失 240 百万円を計上いたしました。

3. 平成 24 年 8 月期通期(平成 23 年 9 月 1 日～平成 24 年 8 月 31 日)の業績予想の修正について

(1) 連結業績

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	3,146	△136	△679	△423	△3,575.17
今回修正予想 (B)	3,519	△183	△734	△437	△3,695.60
増減額 (B-A)	373	△47	△54	△14	△120.43
増減率 (%)	11.9	—	—	—	—
(ご参考)前期実績(平成 23年8月期)	2,166	△618	△684	△804	△7,282.94

(2) 個別業績

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	1,020	△135	△124	114	963.25
今回修正予想 (B)	1,021	△197	△203	28	236.58
増減額 (B-A)	1	△62	△78	△86	△726.67
増減率 (%)	0.1	—	—	—	—
(ご参考)前期実績(平成 23年8月期)	1,196	△420	△425	△886	△8,025.74

(3)修正の理由

個別業績につきましては、売上高は上期にスマートフォン向けの案件の遅れがありましたが、通期においては概ね計画通りに推移する見込みです。利益面につきましては、上期に生じたスマートフォン向けサービス拡充による運営コストの増加等の影響を下期で補いきれず、営業利益が 62 百万円、経常利益が 78 百万円下回る見込みです。また、当期純利益につきましては、上記「2. 特別損失の計上について」のとおり、本社移転に伴い、移転費用等約 23 百万円を特別損失として第 3 四半期に計上する予定であることから、86 百万円下回る見込みです。

連結業績につきましては、ミドルウェア事業は案件の遅れにより上期売上は予想を下回ったものの通期売上は当初計画どおり進捗する見込みであり、また E C 事業が好調に推移していることを鑑み、373 百万円上回ることを見込んでおります。なお、利益面につきましては、E C 事業の利益が増加しましたが、本社の上期の未達および韓国子会社における広告宣伝費等の販売管理費が下期に増加する見込みであるため営業利益は 47 百万円、経常利益は 54 百万円下回る見込みです。なお、韓国子会社の損失の一部は少数株主持分にて相殺される予定です。また、当期純利益は当社及び A M S の本社移転に伴う移転費用等として約 31 百万円を特別損失として計上し、14 百万円下回る見込みです。

以 上

(注) 上記業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。